

## <人口に関する統計(その1) 推計人口>

### 1. 準備

今回はあらかじめ河田が作成したファイルを用いることにする。

【課題 1】 経済統計の講義用 HP から、推計人口のファイルをダウンロードしてみよう。

#### 📖 手順

- ① 検索エンジンで、「河田研究室」と入力し検索すると、「河田研究室」のページにジャンプする。(ここまでの手順は、<http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> とアドレスを直接入力してもよい)
- ② 「経済統計」をクリックし、「第5回 10月10日(水)」の配布資料にある、「推計人口」をクリックし、自分の使いやすい場所に保存する。

### 2. 推計人口の導出

【課題 2】 国勢調査人口、自然増減、社会増減のデータをもとに、推計人口を求めてみよう。

#### 📖 手順

- ① まず、1981年の暫定人口を求める。1980年の国調人口に1981年の自然増減と社会増減を加える。E4セルに、 $=B3+C4+D4$  と入力する。
- ② 1982年の暫定人口は、1981年の暫定人口に1982年の自然増減と社会増減を加える。すなわち、E5セルは、 $=E4+C5+D5$  となる。1985年までは同様の方法で暫定人口を求める。
- ③ 求めた1985年の暫定人口と国調人口はズレがあるので、これを補正する。F8に $=(B\$8- \$E\$8)/5$ と書き入れ、これをF4:F7セルに、さかのぼってコピーする。
- ④ 1981年の推計人口を求める。1980年の国調人口に1981年の自然増減と社会増減と補正を加えたものである。G4セルは、 $=B3+C4+D4+F4$  となる。
- ⑤ 1982年の推計人口は、1981年の推計人口に1981年の自然増減と社会増減と補正を加えたものである。G5セルは、 $=G4+C5+D5+F5$  となる。1985年までは同様の方法で推計人口を求める。
- ⑥ 1986年以降も同様の方法で、まず暫定人口を求め、国調人口との差から補正を求め、推計人口を求めていく。

☒ 本日実習したファイルは、河田まで提出すること。

1. Webclass 経由
2. E-mail に添付ファイルとして(送付先アドレスは [kawada@tokuyama-u.ac.jp](mailto:kawada@tokuyama-u.ac.jp)) のいずれでもかまわない。

締め切りは **10月17日(水)13:05** とする。

なお、ファイル名は「推計人口 E47-〇〇〇」のように、学籍番号をつけること。